

報道提供資料

令和4年12月9日

●この資料の取扱いについては、次のとおりお願いします。		お問い合わせ先	
ラジオ・テレビ・インターネット	解禁日 令和4年12月16日（金） 17時予定（文化審議会終了後）	羽曳野市教育委員会事務局 世界遺産・文化財総合管理室 文化財課 電話 072-958-1111（代） （内線 4480） 直通 072-947-3903	
紙面	解禁日 令和3年12月17日（土） 朝刊から		

表 題	国指定史跡 古市古墳群の追加指定について
内 容	<p>国の文化審議会は、12月16日（金）に開催される同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、羽曳野市の史跡の追加指定1件について、文部科学大臣に答申する予定です。</p> <p>■追加指定 ○古市古墳群 羽曳野市</p> <ul style="list-style-type: none">・峯ヶ塚古墳（みねがづかこふん） <p>古市古墳群は、4世紀後半から6世紀中頃にかけて形成された、応神天皇陵古墳を頂点とする国内を代表する古墳群で、これまで22基（藤井寺市20基、羽曳野市4基、※2基は両市）が史跡に指定されています。</p> <p>今回、峯ヶ塚古墳において、土地所有者の方の「史跡指定すること」への同意が得られた部分（周堤）が追加指定されます。</p> <p>面積は約400平方メートル（約10メートル×約40メートル） 追加指定箇所は、別紙のとおりです。</p> <p>（今後の公有化のための買収事業に関わってくるため、追加箇所図の掲載はご遠慮いただきますようお願い致します。）</p> <p>※詳細については添付資料をご覧ください。 また、写真データが必要な場合は、上記、お問い合わせ先までご連絡ください。</p>

国指定史跡の追加指定について

追加指定される史跡

●古市古墳群（ふるいちこふんぐん）

古室山古墳 赤面山古墳 大鳥塚古墳 助太山古墳 鍋塚古墳 城山古墳
峯ヶ塚古墳 墓山古墳 野中古墳 応神天皇陵古墳外濠外堤 鉢塚古墳
はざみ山古墳 青山古墳 蕃所山古墳 稻荷塚古墳 東山古墳 割塚古墳
唐櫃山古墳 松川塚古墳 浄元寺山古墳 白鳥陵古墳周堤 仲姫命陵古墳
周堤

○所在地

羽曳野市・藤井寺市

※追加指定対象の所在地

峯ヶ塚古墳

羽曳野市軽里2丁目

○概要

古市古墳群は、大阪府南東部、藤井寺市から羽曳野市に位置し、4世紀後半から6世紀中葉に形成された、巨大な前方後円墳を含む古墳群です。本来は130基を超える古墳によって構成されていましたが、現在、墳丘が残存する古墳は45基となっており、これまで22基の古墳が史跡指定されていました。

今回、峯ヶ塚古墳において、条件の整った部分が追加指定されます。

峯ヶ塚古墳（みねがづかこふん）

峯ヶ塚古市古墳群の南西部に所在し、清寧天皇陵古墳と仁賢天皇陵古墳の間に位置し、立入りが制限される陵墓が多い群中であって、間近に見ることができる数少ない前方後円墳です。その立地や形態から古市古墳群では後半に築造されたものの一つで、歴史上重要な意義を有する同古墳群の終焉を考える上で欠くことの出来ない古墳であることから、恒久的な保存のため昭和49年に国の史跡に指定されました。

羽曳野市では峯ヶ塚古墳について、これまでに継続した発掘調査を実施し、墳丘をはじめ各施設の規模や形状を明らかにしてきました。墳丘長96mの二段築成で、くびれ部の北側にのみ造出しを設けます。現存するため池を内濠として、その外側に周堤を築き、さらにその外側では南辺以外は外濠を有します。また、後円部墳頂で確認された石室からは、銀製や鹿角製による装飾がある大刀をはじめ、石製やガラス製の装身具、武器や武具、馬具など3,700点以上の副葬品が出土しています。

さらに、墳丘や濠などから出土した円筒埴輪や須恵器をはじめ、主体部から出土した副葬品の特徴を総合的に判断して、峯ヶ塚古墳は5世紀末頃に築かれたと考えられます。



写真 峯ヶ塚古墳（北西から） 提供：羽曳野市教育委員会